

II-決算

97 下記説明文に該当する勘定科目として最も適切なものはどれか。

「事業の用に供する建物その他の有形固定資産を建設するにあたり、完成するまでに支出された金額を一時的に計上する勘定科目」

- a) 仮払金
- b) 仮受金
- c) 未成工事支出金
- d) 建設仮勘定

98 金利に関して述べた以下の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものは次のうちどれか。

「金利には、金融機関同士の短期間の資金の貸し借りで適用する（ A ）、中央銀行が民間金融機関に貸付ける際に適用する基準金利である（ B ）、民間金融機関が企業に資金を貸付ける際のもっとも優遇貸出金利である（ C ）などのさまざま種類がある。」

- a) A: プライムレート B: コールレート C: 基準割引率および基準貸付利率
- b) A: 基準割引率および基準貸付利率 B: プライムレート C: コールレート
- c) A: コールレート B: 基準割引率および基準貸付利率 C: プライムレート
- d) A: プライムレート B: 基準割引率および基準貸付利率 C: コールレート

99 月次決算について述べた説明文のうち最も適切でないものはどれか。

- a) 月次決算は経営管理の目的で実施するため、法律の定めはない。
- b) 月次決算の積み上げが本決算となることより、本決算を実施するための準備の位置づけとなる。
- c) 月次決算により月ごとの経営数値が把握され、業績管理や問題点等への対応などが実施される。
- d) 月次決算は定められた法規に基づいて行われる。

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解：d

事業の用に供する建物その他の有形固定資産を建設するにあたり、完成するまでに支出された金額を一時的に計上する勘定科目とは「建設仮勘定」である。当勘定科目は建設が完了次第、該当する有形固定資産科目に振り替えられる。

尚、未成工事支出金は建設会社等が未完成の製品(工事)のために支出する費用を計上する勘定科目であり、完成・引渡し後は売上原価に振り替えられる。したがって、正解は (d) となる。

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解：c

金利には様々な種類があり、本問においては、

- ・コールレート：金融機関同士の短期間の資金の貸し借りに適用される金利
- ・基準割引率および基準貸付率：中央銀行が民間金融機関に貸付ける際に適用する基準金利
- ・プライムレート：民間金融機関が企業に資金を貸付ける際のもっとも優遇貸出金利となる。したがって、正解は (c) となる。

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解：d

本決算は会社・株主及び債権者のため、会社法・金融商品取引法・法人税法等の規定に基づき実施されるのに対し、月次決算は経営管理の目的で実施するため、法律の定めはないが、月次決算の積み上げが本決算となることより、本決算を実施するための準備の位置づけとなる。こうした月次決算を通じ月ごとの経営数値が把握されることにより、業績管理や課題問題点等への対応などが実施される。

したがって、正解は(d)。